

平成27年9月教育委員会会議の要旨

1 日時

平成27年9月29日(火) 14時00分～16時00分

2 場所

山口市役所別館1階第2会議室

3 出席委員

大野委員長、國弘委員、宮原委員、横山委員、佐々木委員、竹内委員、岩城委員(教育長)

4 欠席委員

なし

5 事務局

山根教育部長、田中教育部次長、田中教育施設管理課長、
江山学校教育課長、松本社会教育課長、原田文化財保護課長、中原中央図書館長、
石川教育総務課主幹、一村教育総務課主査

(議案)

○議案第1号「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書
について」

(概要)

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書について承認された。

1. 内容

- ・地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により、教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成して、議会に提出するもの

(主な意見や質疑)

質問 : 英語指導助手配置事業について、今後市が直接補助教員として雇用する形態を検討するとあるが、どういった現状にあるのか。

回答 : 英語指導助手については、現在、中学校は直接雇用、小学校は業務委託をしている状況である。委託の場合、直接業務の指示ができないといった課題もあるが、直接雇用で確保できる人材に限りがあるため、すぐに移行することは難しい状況である。

質問： 子どもの居場所づくり推進事業について、活動指標の延べ実施日数が少しずつ減少しているが、どういった理由によるものか。

回答： 屋外行事における天候の影響等が原因であると思われるが、活動の内容が大きく変化していることはない。

(報告事項)

○報告第1号「平成27年10月臨時市議会への報告事項について」

(概要)

損害賠償の額を定めることについて、事務局から報告があった。

1. 内容

- ・山口市立鴻南中学校において、ソフトボール部の部活動中に発生した物損事故について、損害賠償額を定めることの専決処分を行ったため、議会へ報告するもの。

○報告第2号「平成27年9月定例会市議会の審議結果等について」

(概要)

平成27年9月定例会市議会の審議結果等について、事務局から報告を行った。

1. 内容

(審議結果)

○下記4つの議案について可決

- ・平成27年度教育費補正予算
- ・山口市立幼稚園授業料徴収条例の一部を改正する条例
- ・大内小学校校舎・給食室増築工事の請負契約の締結について
- ・山口市立小学校情報教育用タブレット端末等の取得について

(概況報告)

- ・山口市立嘉年小学校の閉校について
- ・全国学力・学習状況調査について

(主な一般質問)

- ・18歳選挙権について
- ・学びの地方創生について
- ・家庭教育支援チームの創設について
- ・文化財や歴史資源を生かしたまちづくりについて

(主な意見や質疑)

意見 :	子どもたちの主権者意識を育むためには、子どもたち自身の意見や行動によって、学校や自分の生活の何かが変わるといった身近な成功体験を重ねることが大事であり、そうした機会の創出を学校においても工夫していくことが重要である。
意見 :	本市の家庭教育支援員については、直接家庭を訪問しての相談活動を行っており、平成17年の制度開始以降、徐々に運用の改良も行っている。さらなる利用の広がりを期待したい。

○報告第3号「平成26年度教育費決算の概要について」

(概要)

平成26年度教育費決算の概要について、事務局から報告を行った。

1. 内容

- ・予算現額 5,457,016千円 支出済額 5,066,008千円
- 執行率 92.8% 翌年度への繰越額 158,308千円
- 繰越額を除く執行率 95.6% 不要額 232,701千円

○報告第4号「平成26年度山口市奨学基金の運用状況等について」

(概要)

平成26年度山口市奨学基金の運用状況等について、事務局から報告を行った。

1. 内容

- ・基金の運用状況
平成26年度末現在高 貸付金 23,040千円、現金 69,029千円
平成26年度中増減高 貸付金 1,155千円、現金 △713千円
- ・奨学生の採用状況
応募人数： 6人 うち奨学生として採用した者 5人

○報告第5号「社会教育委員会議の協議内容について」

(概要)

社会教育委員会議の協議内容について、事務局から報告を行った。

1. 内容

- ・3つのライフステージのうち、「高齢者教育の在り方と次世代への継承について」
 - ①高齢者教育の現状と課題について
 - ②課題解決に向けての具体的取り組みや方策について

(主な意見や質疑)

質問 :	本市では、やまぐち路傍塾以外にどのような人材バンク制度が運営されているか。
回答 :	各学校において、学校ボランティアの登録制度があるほか、地域交流センターにおいても独自の制度を運用しているところがある。
意見 :	今後の意見集約に当たっては、これまでの協議を踏まえ、少数意見についても併記するなど、配慮をしていただきたい。

(協議事項)

○協議第1号「全国学力・学習状況調査結果の公表について」

(概要)
全国学力・学習状況調査結果の公表について、事務局からの提案により協議を行った。
1. 提案理由
・全国学力・学習状況調査結果の公表内容等について、協議するため。

(主な意見や質疑)

意見 :	各学校の成果を上げた取組内容の掲載に当たっては、他校の実践の参考例ともなるように、関心を引きつけるような内容のものとしていただきたい。
質問 :	B問題については、本市においても正答率が低くなっているが、こうした知識の活用や段階を踏んで正答を導くことを要する設問への対応として、どのような指導をおこなっているか。
回答 :	小学校においては、フリートークという時間の中で、話の内容を組み立てて説明する訓練をしていたり、中学校では、新聞などの内容を要約する練習を国語の時間に取り入れたりしている学校もある。こうした取り組みについても、他校に紹介をしていければよいと考えている。